

健保  
くみあい

# 加入者のための ワンポイント解説!

加入者の皆様にわが国の医療制度の課題や健保組合・健保連(健康保険組合連合会)の主張についてわかりやすく解説するものです。

2009年度の国民医療費は36.6兆円で、毎年約1兆円を超える規模で増加しています。このまま医療費の増加が続くと、保険料や国の公費負担だけでは到底まかなうことができません。

“医療費の増加をいかに抑えるか” — これは、健保組合だけでなく国全体で取り組むべき課題です。  
健保組合は以下の事業により医療費の節減に取り組んでいます。

## 健診事業・健康増進事業の推進

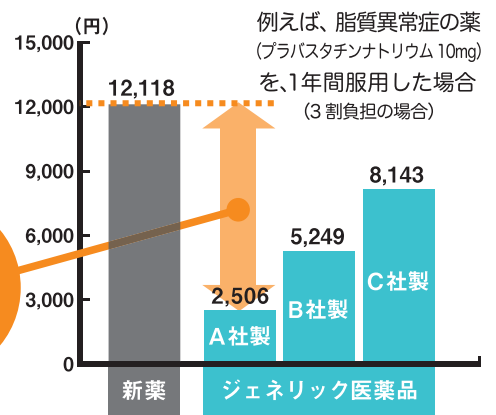
国民医療費の約3割が、糖尿病や高血圧などの「生活習慣病」によるものです。健保組合は、加入者の健康が第一と考え、特定健診・特定保健指導をはじめ加入者の健康増進に積極的に取り組んでいます。この健康への取り組みが、医療費の節減につながっているのです。

## ジェネリック医薬品の利用促進

健保組合は、利用促進に向け積極的に広報を行うとともに、実際に効果が実感できるように、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額をお知らせする、「ジェネリック医薬品の差額通知」も行っています。

## 医療費の通知

健保組合は、加入者が使った医療費の内訳を通知しています。これは、加入者に受診の事実の確認と、どれくらいの医療費がかかったのかなど、医療費に対するコスト意識を持ってもらうために行っています。



日本ジェネリック医薬品学会「かんじゃさんの薬箱」より算出/2010年4月現在

健保組合・健保連は加入者の健康を守り、限りある医療保険財源を有効に活用することに取り組んでいます。このことが医療費の節減につながることから、国全体としても積極的に取り組むことを主張しています。